

一橋大学フットボール部創立期の記録

年度	活動の経緯	役員
1966 年 (昭和 41 年)	<p>馬場寛、三谷清、加藤彰恒、田辺清、深尾一郎ら未経験の 1966 年新入生を中核に有志が集まり、川口智久教授のご支援を得て、小平に練習グラウンド、部室も確保され同好会として発足した。</p> <p>慶応 OB 野原晨平氏に指導を仰ぎ、基礎の基礎から練習を開始した。フォーメーション、プレー構成の決定からクラブ運営に関わる全てについて、学生による自主的チーム作りを進めた。</p>	<p>部長：川口智久 コーチ：野原晨平 主将：馬場寛</p>
1967 年 (昭和 42 年)	<p>同好会から部に昇格し、国立東校舎に専用グラウンドと部室が貸与された。1967 年新入生の加入により部員数は増加したが、試合を継続出来るだけの人数は整わなかった。</p> <p>しかし部員の意識は盛んで、東大を始めとする周辺各校との合同スクリメージ練習、東大検見川での合同合宿等を重ね、実力の涵養を図った。</p>	同上
1968 年 (昭和 43 年)	<p>1968 年新入生の入部により体制が整い関東学生アメリカンフットボール連盟に加入した。コーチ不在の中、春は東経大等近隣大学とのオープン戦を行い秋のリーグ戦に臨んだが、結果は 5 戦全敗に終わった。</p> <p>12 月、大阪大学との間で定期対抗戦を行うことになり、第 1 回戦を阪大石橋グラウンドで実施した。</p> <p>年度末にコーチとして東大 OB 石坂恒彦氏を招聘した。</p>	<p>部長：川口智久 コーチ：不在 主将：馬場寛</p>

1970 年卒馬場寛初代主将による創立期の思い出

1966 年の 1 学期末頃にクラブ立上げの呼びかけを小平で行いました。同年 2 学期には川口先生のご尽力で小平グラウンドの使用許可、小平体育館の一角を部室として使用することの許可を得て部室造りや練習用具の確保等も行い、野原氏に来ていただいて練習を開始しました。国立東校舎に専用グラウンドを持つようになったのは部に昇格したその翌年度（1967 年）です。

一寸フットボールに興味を持った新入生を練習に参加させて、その気にさせるには防具は必需品です。創立期メンバーは既に防具を取り揃えていましたが、新人に貸与する程の余裕はありませんでした。次年度は何としても部員数を増やしたいと考えていた 1967 年度の冬（だったと思いますが）、皆でアルバイトをして資金を拠出して予備の防具を購入すると同時に米軍基地に中古品の防具をもらいに行ったわけです。つまりリクルート対策であり、苦勞物語という程の話ではありません。因みに近傍の全米軍基地に依頼をしたところ、座間基地のジョージ・L・ナジャリアン氏（ヘッドコーチ）が応じてくれました。本当に有難かった記憶が未だに残っています。

関東学生アメリカンフットボール連盟に加入した 1968 年は、明治大学が優勝して甲子園ボウルに出場しましたが、創立当初の関東学生リーグの雄は日大で圧倒的だったと記憶しています。

（文責 1979 年卒吉田稔）